

ふるさとに誇りと愛着をもつ金比良っ子・光海っ子の育みプラン



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
佐世保市立 金比良小学校	金比良小・光海中学校運営協議会 令和4年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 0名 0名	金比良小学校・光海中学校地域学校協働本部
佐世保市立 光海中学校	金比良小・光海中学校運営協議会 令和4年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 0名 0名	金比良小学校・光海中学校地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校区は、佐世保市内中心地にあるものの、坂の町・道路が狭いという地理的環境や少子高齢化の影響で、地域住民約3,140人のうち小中学生は約200名、6%の割合となっている。

子どもは地域の宝であり、地域の問題を地域みんなのつながりで解決していこうとする姿勢がある。地域課題を解決していくためにも、学校を核とした地域づくりが求められている。

さらに、世代を超えた交流によって、地域のつながりや明るい街づくりを目指している。

目標や目指す姿(学校)

ふるさとに愛着をもち、夢や志を育みながらたくましく成長する児童生徒の育成

目標や目指す姿(地域)

絆でつながり住みよい西地区(金比良・光海校区)学校・保護者と連携し、一人一人の子供の成長を見守る地域



金比良小・光海中学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- 地区自治協会長
- 児童センター所長・委員長
- 民児協会長・主任児童委員
- 旧PTA
- 子育て支援部会部長・部員代表
- 現PTA代表
- 地区自治協各部会代表
- など、計 **24** 名で構成
- 放課後学習支援代表
- 年間平均 **5** 回程度開催

効果的な運営の工夫

- ◆構成メンバーを地域の各関係機関・団体の長だけでなく、地域を支える次世代のメンバー(旧PTAおよび現PTA)も参画している。
- ◆コミュニティ・スクール企画会による事前の協議内容検討により、学校や地域の特性に合わせた協議をするように準備をしている。
- ◆学校運営協議会と地域学校協働本部がつながるように、協議の結果等の情報共有を図るとともに相互に意見や要請ができるようにしている。
- ◆地域にコミュニティ・スクールおよび地域学校協働活動について広報啓発するための講演会や語らいの広場を開催している。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

学校運営協議会では、地域学校協働活動(「夢を語ろうinKokai」等)のよさを地域に知らせ、積極的な参加を促している。特に「夢を語ろうinKokai」については、学校運営協議会の中で地区自治協議会総務部に働きかけ、14地区の公民館長に周知し、各地区からの参加を募るよう話し合った。その結果、特にコミュニティ・スクールになってからは地域人材の募集が円滑になった。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

小6～中3、75名の児童生徒と学ぶ総合的な学習の時間の「夢を語ろう in Kokai」への参加募集・事前学習会・参加を呼びかけている。
異世代の人たちと語る心地よさを味わいながら、子どもたちと「夢」「あこがれ」をテーマに座談会を行っている。



夢を語ろうinKokaiの様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校から報告を受けた子どもたちの現代的課題を解決するために、学校運営協議会で目指す子ども像・目指す地域像・目指す家庭像を話し合った。それを受けて、その課題を改善するために、地域学校協働本部が人とのつながりを学ぶ取組を学校とともに準備し、地域の参加を呼びかけている。子どもたちの夢・志を育み、ふるさとへの愛着をもち、ふるさとを元気にする活動であり、世代の違う人とは話しづらい子どもたちに、自分から人に関わって話す力も育っている。

取組

成果・効果

子どもたちには、**2点の効果**が見られている。

- ①夢やあこがれを語ることで、人生への価値観をもち、自分・他者・ふるさとと出会い直すこと。
- ②世代を超え、異年齢集団で話をする中で、対話の力を高め広げること。

【これまでの感想から】

生徒:「話すことで自分の考えがまとまる。参加してくださった方の夢やあきらめない気持ちを聞くことができた。」

「こんなに本気に自分の人生のことを考える先輩をとてまっかいいと思いました。」

保護者:「あまり考えていないなという印象の子もいた。もう少し自分から話に参加する子が増えるといいです。」

地域:「子どもたちとコミュニケーションをとり、何か成長の助けになればと改めて思いました。困った時や苦しい時に思い出してもらえよう地域づくりができたと思います。」

感想から子どもたちの課題や地域への思いを聞くことができた。学校を核とした地域づくりの取組となっていると確信する。

